

経営比較分析表（令和2年度決算）

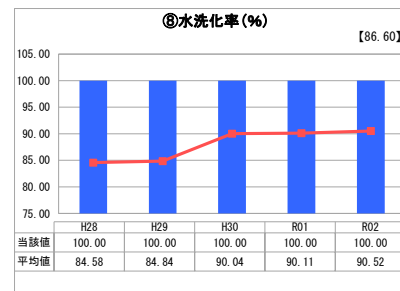
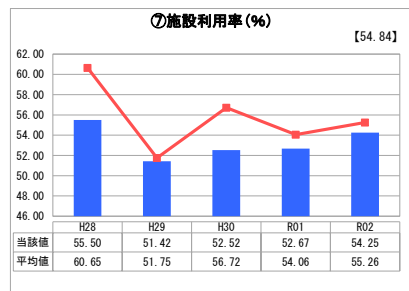
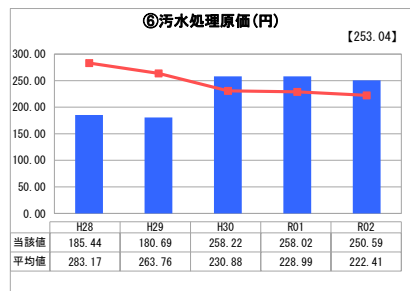
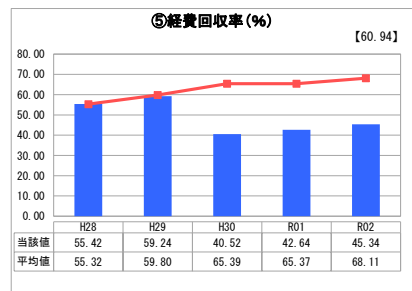
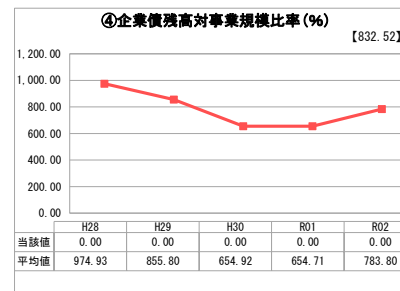
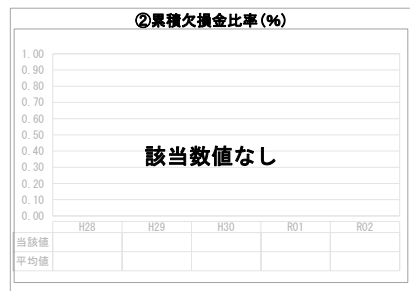
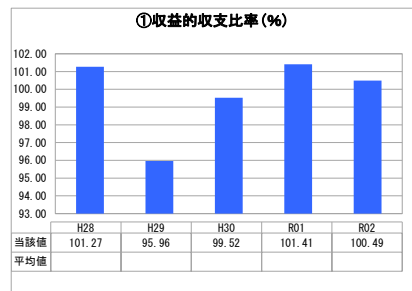
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.24	86.13	1,925

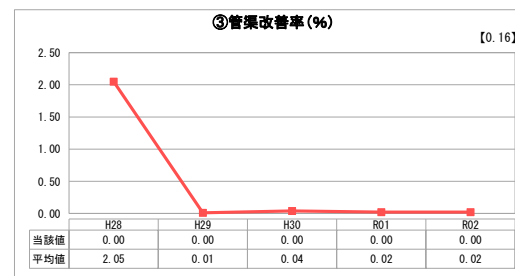
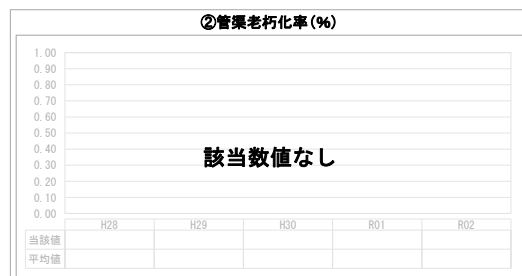
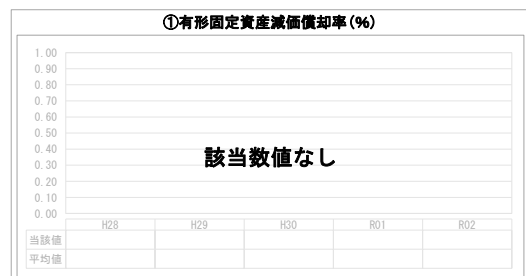
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,352	40.39	281.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,155	1.24	931.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%を上回っているが、経費回収率については、平均値を大きく下回っており、低水準である。
そのため、使用料金を適正な額に改定し、経費回収率を上げたいが、公共下水道組合と使用料を同等としているため、使用料金を増額するのは難しい状況にある。
施設利用率は増加傾向にあるが、汚水処理原価は平均より高いため、今後数年間は同じ状況が続くと考えられる。

2. 老朽化の状況について

施設の機器については老朽化等により不具合・故障が増えてきている。緊急性や重要性を考慮し、効率的な更新・修繕を行いたいと考えている。

全体総括

施設の機器の老朽化等により修繕費等の各費用が増加傾向にありながら、各指標も平均と比較し低水準なものもある。今後も緊急性や重要性を考慮し、効率的な更新・修繕を行いたいと考えている。施設利用率を増加するために、浄化槽からの移行や、広報等で案内を行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。